

ニホンナシの台風などの強風による落果防止に有効な袋掛け方法

[要約] ニホンナシに袋を掛ける場合は枝掛けまたは果台掛けにすると従来の果梗に袋を掛けを掛けた方法より台風などの強風による果実落果率は低い。

長崎県果樹試験場・落葉果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	普及
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成11年度長崎県果樹試験場業務報告

[背景・ねらい]

ニホンナシ、特に晩生ナシでは台風などの強風による収穫前の落果が生産の不安定の大きな要因となっている。そこで、台風などの強風による落果率を少しでも軽減できる大袋掛けの方法を検討した。

[成果の内容・特徴]

- ①果台掛け及び枝掛けの袋掛け所要時間は果梗掛けに比べ、新高の果台掛けで約6秒/袋、枝掛けで約18秒、新興の果台掛けで約10秒、枝掛けで約14秒遅い。(表1)
- ②1999年台風18号による落果率は新高、新興ともに枝掛け及び果台掛けが従来の果梗掛けより低い。(図1)

[成果の活用面・留意点]

- ①1999年18号台風(最大風速29.8m)より強い台風では効果は不明である。
- ②枝掛けしやすい大袋資材の改良。

[具体的データ]

表1 袋掛け方法と所要時間

袋掛け方法	袋掛け時間 (秒/袋)
<b>新高</b>	
果台掛け	34.5
枝掛け	46.6
果梗掛け(慣行)	28.3
<b>新興</b>	
果台掛け	39.7
枝掛け	44.3
果梗掛け(慣行)	30.2

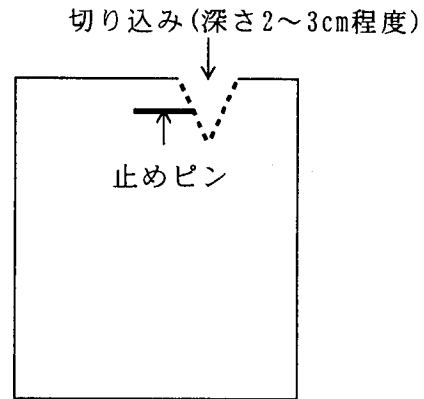


図1 枝掛け用袋の切り込み

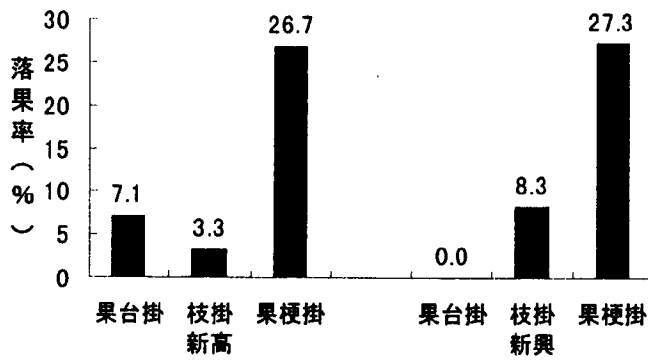


図2 袋掛け方法と落果率

[その他]

研究課題名：西南暖地の特性を活かした晩生ナシの超高収益栽培技術の開発

予算区分：地域重要新技術

研究期間：平成11年度（平成9～13年）

研究担当者：田中 実、森田 昭、林田 誠剛

既発表論文等：なし